

# 最新事例に学ぶ 企業倫理・コンプライアンス実践コース 2024-2025年版

ますます高まる社会のコンプライアンスへの感度を背景に、今求められるコンプライアンス『職業倫理』について、どのように実践すればよいかを学びます。

事例・レポート問題  
改訂

## <特長>

- 「職業倫理」の視点から、コンプライアンスに対する「より高い自覚と責任」を養います。
- 身近な事例を用いて、常に社会の厳しい目にさらされている企業・組織の活動を再確認し、「職業倫理」をどのように実践すればよいか学びます。
- 最新のコンプライアンス事案をもとに、ケーススタディによる「トレーニング」を行い、日々の行動・活動に落とし込みます。



## <カリキュラム>

第1章 いまコンプライアンスに求められること	1-1 いま求められているコンプライアンス 1-2 職業倫理とは
第2章 コンプライアンス活動を見直すための5つの視点	2-1 職業倫理を実践するために必要なこと 2-2 遵法性について 2-3 公正性について 2-4 主体性について 2-5 誠実性について 2-6 良識性について 2-7 社会が求める職業論理のレベル
第3章 ケーススタディ 最新事例に学ぶ職業倫理	<b>3-1 認証申請における組織的な不正行為</b> NEW 3-2 転職者による営業秘密侵害 職業倫理の実践に向けて（事例アーカイブ）※

## <概要>

受講対象者	●ビジネスパーソン全般
監修	●中村葉志生 ハリートンカンパニー 代表取締役
仕様	●想定学習時間：90分 ●最短実行時間：48分 (アーカイブ事例を除く) ●テスト数：1（全10問ランダム出題）

※「職業倫理の実践に向けて（事例アーカイブ）」では、過去に取り上げた事例を学習できます。

2011年事例	広告の偽装表示	2014年事例	ユーザー懸賞の水増し
2011年事例	個人情報の漏えい	2020年事例	部下へのパワハラ
2012年事例	薬剤の試験データ改ざん	2021年事例	電話勧誘販売での契約のねつ造
2012年事例	職歴情報の漏えい	2022年事例	顧客情報の漏えい
		2023年事例	セミナーでの不適切な発言